広報
いまかね

発行所 今金町役場



謹賀新年



新年を迎えて

今金町長 安部義雄

町民の皆様、明けまして御めでとう御座います。

昭和三十九年の新春を迎え皆様の御健康と新しい意慾に燃えた御活躍を期待いたしまして新年の御挨拶を申上げたいと存じます。

省みますと昭和三十六、七年と打続く大災害に見舞われましたが、町民の旺盛な復興意慾と関係各機関の御理解によつてその復旧もほぼ完了し、しかも昭和三十八年は隣接町村が大災害を被つたにもかかわらず、幸い本町はその災禍を受けず又特に冷害を予想された水稲も後半の順調な天候に恵まれて豊穣の秋を迎える等洵に本町にとつては幸い多き年であつたと思います

又、各般の建設事業におきましても、国、道、町関係を合せて八億に及ぶ道路橋梁、河川の復旧、改修、新設工事の完成を見、昨秋ピリカ橋、住吉橋、水車橋、稲穂橋、田代橋五橋合計延長四二〇米の永久橋完成は町産業発展の動脈として、又町勢振興の要めとして洵に画期的な飛躍を期待出来るものと心から慶びに堪えないものであります。

更に文教施設に於ても前年二校の屋体建築に引続き三十八年も美利河、種川二校の屋体が竣功を見、年々頭書計画を上廻る実績を挙げ得ましたのも町民各位の熱意と御協力によるものであつて、この点心から感謝申上げる次第であります。

昭和三十九年度に於きましても前年に上廻る事業量が既に内定しており町の施策と併せて本年は更に飛躍的な建設事業が町内全域に亘り実施される訳でありますが、新年を迎え意を新たにし全町民一致協力して今金町発展の為に努力する事こそ私達町民の責務であると痛感するものであります

茲に新年を迎えて町民の皆様と共に力を併せ平和なそして住みよい郷土今金町の発展と建設に全力を尽すべく決意を新たにしておる次第であります。

何卒本年も町民各位の一層の御協力と御鞭撻を御願申上げ併せて各位の御健康を祈念して新年の御挨拶といたします。

新年挨拶

今金町議会議長 河端豊

町民のみなさん明けましておめでとうございます。

ここに輝かしい昭和三十九年を迎えることができましたことを心からおよろこび申し上げます。

わたくしは昨年議長に就任以来、町民のみなさまのご支援を唯一の力として「住みよい今金町」の建設に懸命の努力をいたしておりますが、ここに新春を迎え心がまえを新にして、今金町の建設に飛躍をつくしたいと決意しております。

顧りみますと凶作と心配された水稲も豊作にめぐまれ自然条件を克服された農家のみなさまの不撓不屈の農民魂を発揮されたたまものと思います。本年も大いに奮起昂揚して是が非でも豊作の年にしなければならぬと思います。反面今金町は年々発展し教育、土木、産業、社会行政にわたり数多くの事業を実施いたしましたがこれもひとえに理事者始め全町民の愛郷精神のたまものでありまして今後一層のご協力、ご支援をお願いするものであります。

しかしながら一面全町をみますに町民の福祉を増進し、町民生活の安定を図るには幾多の重要問題が山積しております。農業構造改善事業、教育問題、土木、社会、土地改良事業等、まして北桧山総合かんがい事業左岸地区全体設計予算付された年でもあり、この解決を図ることは直接町政を担当するわれわれに課せられた責務であり、道の第二次総合開発計画と相まつて町財政の範囲内において最大の効果をあげるべく努力する覚悟でございます。

そこで地方自治制度における議会の責任は重くかつ重大であり、これを充分に遂行するため議会を再編成し、長と議会とが相互牽制相互協力の立場を堅持し、町民一体となつて自治振興に邁進したいと念願するものであります。昭和三十九年は更に本町の躍進の年として町政全般にわたり最大の努力を傾注する所存でありますから何卒倍旧のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。どうぞみなさまにとりまして最良の年でありますようご多幸とご健康を心からお祈りし新年のご挨拶といたします。

懸案成る

利別川流域国営総合開発事業

長期懸案である利別川流域国営総合開発事業については長年の計画と陳情要請と、中央関係諸官の来訪により次第に実現の機運にあり次第に認識を深めており次第に実現の機運にあることは町民と共に御同慶に堪えない次第であります。

昭和三十九年以降既に継続事業として現在決定しています主要事業は、今回新規採択された事業総額十二億余円の利別川左岸国営かんがい排水事業を始として利別川上流防災対策の一環としての治水線の堤長総額五億余円と併せて、美利河地区砂防治山事業についてはニ億余円の事業が採択され既に工事も進捗中であります。

このほか、交通関係では国鉄〜今金間の道々線の拡幅改良工事と、今金市街の都市計画五事業線の整備事業と、併せて簡易水道事業も昨年と本年に亘って工事が進行中、年末までにも給水開始の予定にあることは皆様も既に御承知の通りであります。

更に残された主要懸案事項は多岐に亘りますが、そのうち最も重要なものとしては、利別川右岸の事業費総額十四億余円の国営かんがい排水事業の促進を始として、上流美利河地区の防災を軸とする、多目的ダムの建設については、本町産業開発の基盤となるものでこれら事業実現について今後共、町民各位の御尽力と併せて、絶大なる御協力と御理解を期待しております

畜産経営に朗報

経営拡大に資金融通

畜産経営拡大資金の概要

昨年六月この資金が制度化されたことは、新聞紙上等で御承知のこととは思いますが、運用について詳細が具体化されましたので、その概要を次の通り御知らせしますので、希望の方は産業課畜産係迄御相談下さい。

一、目的

今後著しい伸長が期待される畜産物需要の動向に即しつつ、畜産経営の近代化をはかるため特に多額の資本投下を要する酪農経営、および肉用牛経営について、自主的な計画に基き家畜飼養規模の拡大、近代的な施設の整備等経営資本装備の高度化をはかつて生産性の高い経営を確立しようとする農業者に対し、農林漁業金融公庫が、これに必要な資金を長期かつ低利に貸し付けし、畜産の基幹となる経営体を育成することを目的とするものです。

二、貸付の条件

(イ)貸付限度額　二五〇万円

(ロ)利率　年六分

但し据置期間中は年五分五厘とする。

(ハ)償還期限　一二年以内

(ニ)据置期間　三年以内

三、貸付の対象事業

(イ)搾乳の用に供する乳牛又は繁殖の用に供する肉用雄牛の購入に必要な資金。

(ロ)農舎、畜舎、たい肥舎、サイロ、家畜用水施設、畜産物処理施設、家畜害虫駆除施設、機器具又は運搬用機具の改良造成又は取得に必要な資金。

四貸付の認定条件

(イ)現在二四ヶ月以上の乳牛が七頭以下であり、常時六頭以上八頭以内を安定的に保持できる飼養規模を有していること。

(ロ)飼料自給率が、おおむね六五%以上であること。

(ハ)畜産経営構造改善計画を作成すること。

以上が概要でありますが、詳細については係まで御尋ね下さい。

有利な

国民年金前納制度

国民年金の保険料につきましては、二十才以上三十四才まで百円、三十五才以上六十才まで百五十円を毎月納めなければならないことになっておりますが、毎三ヶ月割し、又は納期ごとに納入するのが面倒だという方や、秋に一括現金収入のある農家のため、まとめて保険料を前納する方法があります。

この前払は、割引があり有利で手間のはぶける便利な制度ですし、又途中で脱退したときは、脱退したとき以後の残りの期間の保険料は当然返されることになっています。

保険料前納は一年以上十年までの、半単位の場合と六十才までの全期間分を前払する場合の二通りありますがどちらの場合でも利子を割引いた、お得なものとなっています。

割引額は、前払いするときの年令と前払いする期間によって異なりますが、割引率は、年五分五厘の複利となっています。

保険料を前払いした被保険者が、途中で他の年金制度に移つたり、死亡したときは、本人や、遺族の請求によって、残りの期間の前払い分は返還されます。返される額は、他の年金制度に移つたり、死亡したとき前納すれば、幾らと云う計算にしたがって、きめられます。

例えば本年一月で満三十六才と二ヶ月の人が全期間前納と保険料は二四、一九〇円となり、毎月納入していくと総額四二、九〇〇円必要ですから差引き一八、六一〇円の割引となる訳です。

又満二十才になつた人が四十年の全期間を前納すると二三、五四〇円の保険料で毎月納入していくと六三、〇〇〇円が必要ですからこの場合も差引三九、四六〇円の割引となるのです。

この様に前納については大変有利で年金の受給も絶対安全な方法でありますからこの制度を活用して下さい。

又この前納制度は、希望がありましたら、全期間の前納ばかりでなく、一年以上から出来ますので、社会課年金係へ御相談下さい。

くらしの基盤

営農に年間計画を

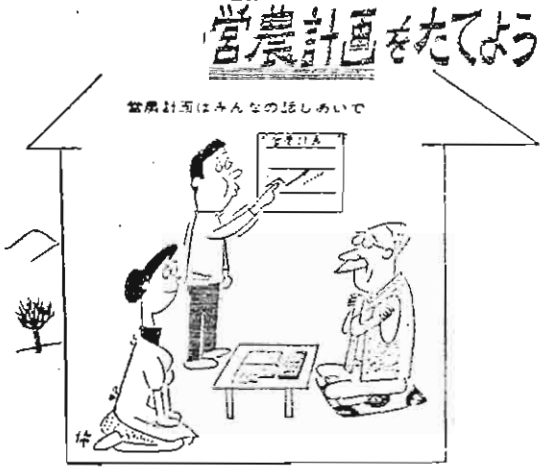
「ことしこそは、去年よりもっと農業をやろう」―と、どの農家でも考えていることでしょう。そのためには、農閑期に営農について改善すべき点をじゅうぶん研究して、年間計画を立てることがたいせつです。

おそらくどんな農業経営でも、毎年改めてゆかなければならない点がたくさんあるはずです。たとえば、水田でことしはどんな品種が良いか、去年やったことで改めなければならないかどうかというようなことです。みんながこのようなことを考えているにずですが頭の中で考えただけでは家族の人たちがじゅうぶん理解しないために失敗しがちです。

営農を成功させるには、年間になすべきことを計画書としてまとめておくことです。計画書を作る要領がわからなかったり参考になるものがほしい場合は、農協か、農業改良普及所にどしどしご相談ください。

また、営農計画を部落のみんなで研究し合うこともよい方法ですから話し合いの持ち方についても相談してみましょう。

営農計画は、忙しくなってからでは間に合いません よりよい農業経営とするために、今のうちから年間計画をたてましょう。





自殺にひとしい
飲酒運転

年末や正月はとかくよっぱらい運転による事故が多く発生します。

ふだんでも酒を飲んだうえでの事故は特に多く、無免許、スピード違反と共に交通三悪の一つに数えられているほど。酒を飲んで車を運転するのは、自殺行為のようなものといえます。

酒を飲んで運転することが、なぜそんなに危険なのでしょうか。酒に酔うと、ものを正確に見る力が鈍くなり、ことに夜みちでは、人が歩いていても気がつかなくなるわけです。

運動神経も鈍くなり、動作がかんまんになつて、とつさの危険にすくハンドルやブレーキを操作できなくなります。酒に酔うと、からだの平衡感覚が鈍つて足もとがあやしくなるのがふつうですまして運転していると足もとに体重がかかるので、ついアクセルペダルを必要以上に踏んでスピードを出しすぎるハメになろうというものです。

おまけに鈍つた神経ではスピード感も感じなくなるのですから、いよいよ危険ということになります。



今金町役場

町長　安部義雄
助役　犬上博
収入役　吉村太郎
固定資産評価員　太田籌雄

総務課

課長　戸沢定勝
庶務係長　古畑正勝
係　大塚勝三
〃　鈴木捷
〃　渡辺和子
経理係長　今野佑
係　木村陵子
戸籍係長　戸沢定勝
（事務取扱）
係　上田邦孝
〃　阿部富子
管財係長　浜田邦男
運転手　平原昌美
使丁　愛宕吉太郎
給仕　安達利美

税務課

税務課長事務取扱　太田籌雄
税務係長兼町民税係長　生亀勇
係　富沢昭雄
〃　川島紀邦
〃　小西喜子
固定資産税係長　吉田英俊
係　小西敏明
〃　下山更治

社会課

課長　石井政吉
国保係長事務取扱　石井政吉
係　小笠原実
〃　佐々木哲也
〃　多田ハツエ
厚生係長兼労政係長　森野庄平
係　坪田有隆
国民年金係長　白山孝
係　高畑秀樹

土木課

課長　日野清輝
建築係長　小西末春
係　佐々木春夫
土木係長　中井誠司
係　大楽正裕
〃　百成茂昭
〃　市原正
用地係長　高橋保

産業課

課長　久保田常次
農産係長　有賀正夫
係　相原博夫
畜産兼開拓係長　遠藤正光
係　佐々木靖美

商工統計係長　亀谷文也
林務係長　佐々木茂
今金町営農改善推進事務局
事務局長事務取扱　犬上博
企画係長　米世貞夫
係　岡新蔵

土地改良課

課長　湯浅久治
土地改良係長　野田正五
係　愛宕要
〃　森忠雄
管理係長　高田昂
水道室
水道室長　石井俊直
係　大和英雄

議会事務局

事務局長　重村栄吉
係　村上規雄
農業委員会事務局
局長　飯田政市
係　渡辺茂

今金町国保病院

院長　元木賢治
副院長　落合一個
事務長　石井一郎
薬剤士　石川浩市
庶務係長兼経理係長　稲垣武雄
係　小池勝利
医事係長　若山省三
係　遠藤武男
高田勇
加我由美子
伊藤百合子
千葉重作
臨床検査技術員　加我幸夫
レントゲン技術員　加藤富雄
運転手　黒川博

看護婦長　相川礼子
川中礼子
佐藤智子
沢口幸子
坂本吉子
森久美子
佐々木静子
佐藤絹子
山本礼子
齋下節子
栄養士　真壁登代子
炊事婦　工藤きよの
古旗松子
下山京子
山田紀代子
掃除婦　愛宕サツ子
使丁　室谷惣次郎
〃　工藤幸七

今金町保育所

所長　山田滋子
保母　笹森陽子
〃　川村節子
調理士　栗谷幹子
使丁　加藤良子

今金町教育委員会

教育長　天沼義之進
総務係長　吉田辰雄
係　岸本義仁
〃　白田壮二
〃　坪田玲子
社教主事　佐藤八郎
公民館使丁　山田留貞
小学校使丁　馬場武彦
中学校使丁　北一郎

今金消防本部

団長　内藤重蔵
副団長　日野太
〃　西田丑蔵
〃　安達乙松
〃　佐藤末松

今金分団長　多田貞太郎
同副分団長　松井正男
種川分団長　沢口正一
同副分団長　猿川三太郎
花石分団長　佐藤末松
同副分団長　梅村松次郎
消防本部
常備消防士　宮谷吉治
古畑正雄
柳良治
芳賀鈴夫
今金町と場　木村義信
今金町公益質屋　八代政孝

今金町議会

議長　河端豊
副議長　今野伝
総務常任委員長　長谷川敬一
土木常任委員長　中野喜久次郎
産業常任委員長　伊藤綱義
議員　丸山九内
仁木盛勝
渡辺二郎
大越藤夫
岡部広
加藤五郎
曽我井定一
諸戸忠左エ門
鈴木正
松浦武雄
中山源一
藤村徳蔵
田中千代吉
庫元吉雄
村本光夫

今金町監査委員

相良愛光
松浦武雄

今金町選挙管理委員会
委員長　清水正義
委員　辻理
〃　相良愛光
〃　山本民吉
書記長　戸沢定勝
書記　鈴木捷

今金町公平委員会

委員　女屋儀八
山崎清太郎
東条利夫

今金教町育委員会

委員長　大西信明
委員長代理　細川勘三郎
委員　有賀文平
〃　田中ミサオ
〃　天沼義之進

今金町農業委員会

会長　伊藤綱義
会長代理　原口昌己
委員　河田義孝
伊藤文吉
田中春吉
森川久太郎
山田春吉
中島竹市
小野明
村上美三雄
田中千代吉
梅村松次郎
荒井正信
村本光雄
猪股敬二
笹森武雄
天沼汪

固定資産評価審査委員会
委員　南川松栄
中島英喜
村上美三雄